

横浜市歴史博物館 YOKOHAMA HISTORY MUSEUM NEWS News

2019.7
No. 47

レキハクファーム
通信第2号

米と麦

[館長コラム vol.6]
館長が行く! 横歴探訪

環濠集落研究の最前線を知る ―茅ヶ崎市の下寺尾西方遺跡―

企画展 「道灌以後」の戦国争乱 横浜・上原家文書にみる中世
「上原家文書」からこんなことがわかった!
―レックル なるほドリ!? ほんとドリ!!



INFORMATION

休館のお知らせ 2019年8月1日(木)～2020年3月31日(火)

改修工事のため、休館いたします。博物館の展示室や図書閲覧室など館内施設はご利用いただけません。
大塚・歳勝土遺跡公園は通常通り開園いたします。(大塚遺跡休園日:月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始)

休館中は、遺跡公園内工房に会場を移して、ワークショップ「れきし工房」や遺跡公園ガイド、他施設での出張ミニ展示を開催します。

れきし工房 当日参加型れきし工房



博物館のオリジナル工作キットを使って「あじろ編み(小物入れ、ポシェット、トートバッグ)」「まが玉(青田石、かつ石)」「まゆ細工」「小田原提灯」をお作りいただけます。

○会場:工房
○料金:キット代(300円～1,800円) ○時間:10:00～16:00
*お作り頂くものにより難易度・最終スタート時間が異なります。
詳しくはお問合せください

大塚・歳勝土遺跡公園ガイド 無料



約2000年前の弥生時代のムラとお墓の跡、国指定史跡の「大塚・歳勝土遺跡」をボランティアスタッフがガイドします。

○受付:工房
○ガイド時間:〈平日〉9:30～15:30、〈土日〉10:00～16:00
(受付は終了30分前まで) 事前予約も承ります。

出張ミニ展示 *情報は随時HPやツイッターで更新していきます。



チラシに見る昭和40年代の暮らし(仮)
8月21日(水)～9月10日(火)
(月曜日休館) 9:30～17:00
○会場:横浜都市発展記念館
○アクセス:東急東横・みなとみらい線
「日本大通り」駅下車徒歩0分



街頭紙芝居の世界
9月27日(金)～10月15日(火)
9:30～16:00
○会場:横浜市八聖殿郷土資料館
○アクセス:JR根岸駅より横浜市営バス54・97系統「本牧市民公園前」下車徒歩5分

大塚・歳勝土遺跡公園の利用案内

大塚遺跡を除く公園部分は24時間オープン

○大塚遺跡開園時間 9:00～17:00
○休園日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
○交通 横浜市営地下鉄「センター北駅」2番出口から徒歩7分

*休館中は館内の通行はできません。外側より歩道橋をご利用ください。
また、駐車場はご利用いただけません。



[URL] <https://www.rekihaku.city.yokohama.jp/>
[twitter] @yokorekihaku

計報

横浜市歴史博物館の建設準備段階から、近世担当芸員として活躍された、横浜開港資料館副館長、齊藤氏が令和元年(2019)6月23日にくも膜下出血のため急逝されました(享年60)。心よりご冥福をお祈りいたします。

齊藤氏の担当展示図録や著書は図書閲覧室でご覧いただけます。

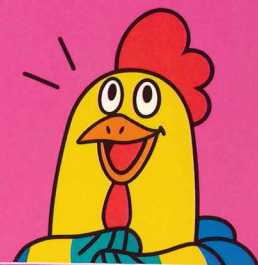
横浜市歴史博物館
YOKOHAMA HISTORY MUSEUM

〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-18-1 Tel.045-912-7777(代表) Fax.045-912-7781

横浜市歴史博物館ニュースNo.47 2019年7月20日発行

[編集・発行] 横浜市歴史博物館 [デザイン] 株式会社トーン・アップ

横浜市歴史博物館は(公財)横浜市ふるさと歴史財団が指定管理者として管理運営しています。

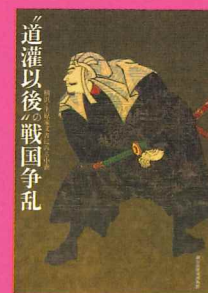


企画展「道灌以後、の戦国争乱
横浜・上原家文書にみる中世

「上原家文書」からこんなことがわかった！ レックルなるほドリ!! ほんとドリ!!

文 阿諏訪青美

展示本編や
上原家文書に
ついては、
こちらの図録で
ご覧ください！



編：横浜市歴史博物館 A4判
64頁 1,500円(税込)

二〇一九年六月一五日(土)より、企画展「道灌以後、の戦国争乱」横浜・上原家文書にみる中世―を開催しました。展示では関東の戦国を、北条氏ではなく、その裏で複雑な動きを見せた太田道灌の子孫たちに注目して紐解きました。

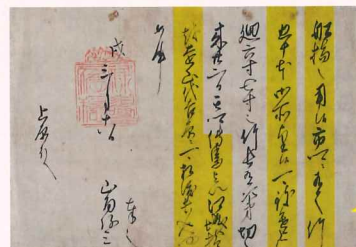
中心となった資料は、横浜市指定文化財の上原家文書です。上原氏は、岩付城(さいたま市岩槻区)を拠点とした岩付太田氏の家臣でした。天文一五年(一五四六)の河越合戦で城主・太田資顕(全鑑)を手引きし、北条氏へ味方することに成功したため、恩賞として武蔵国市郷(青葉区市が尾

町)と同戸部郷(西区戸部町)を与えられています。しかし資顕が死去し弟の資正が武力で家督を奪い取ると、他の家臣たちとともに岩付城を離れて北条氏の下に入り、江戸衆に組織されました。

この上原家文書については、図録に全点の写真と釈文と解説を掲載しました。一方展示会場では、博物館公式(?)キャラクターのレックルが、「レックルなるほドリ!? ほんとドリ!!」と題し、上原家文書からわかったエピソードをわかりやすくご案内しましたので、ここでご紹介いたします。



一遍聖絵 第6巻第3段 清浄光寺(遊行寺)蔵
遊行寺宝物館写真提供



北条家朱印状(上原家文書)
(天正2年推定・1574)3月18日 個人蔵 当館保管

ここに、船橋をつくる材料として市ヶ尾の竹50本を江戸城まで馬で運ぶようにと書かれているよ。

船橋はいつまで使われた?

船をつないでつくる船橋は、鎌倉時代の絵巻物「一遍聖絵」にも描かれているように、古い時代からの河川を渡る方法でした。この船橋はたとえば敵軍が渡れないように綱を切り、すぐにまたつなぎ直すというように、合戦のときに便利のため、武士たちはいつも船橋の材料に気を配り、交通を管理していたようです。

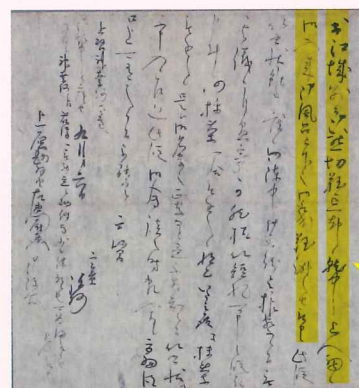
このような船橋は、幕末～明治期の浮世絵や写真にも見られ、昭和10年ころまでは関東北部の河川に架けられていました。なかでも利根川の常総大橋は、昭和54年(1979)に、船橋から鉄筋コンクリートの橋に架け替えられています。

初登場!! 江戸城のお風呂

ここに、江戸城で接待してもらったこと、お風呂に入れてもらったことがとてもうれしかったと、お礼が書かれているんだよ。



一遍聖絵 第3巻第3段 清浄光寺(遊行寺)蔵
遊行寺宝物館写真提供



弥阿書状(上原家文書) 年未詳9月6日
個人蔵 当館保管

市郷(青葉区市が尾)の武士・上原氏が、江戸城で遊行上人の一行をもてなし、江戸城で遊行上人の一行をもてなした際、上人の入浴を世話したことがわかる資料があります。遊行上人とは、全国を布教して歩く時宗という宗派のトップを務めたお坊さんのことです。

当時のお風呂には、湯気のこもる浴室で汗やアカをぬぐうサウナのようなものと、温かいお湯につかるものとがありました。どちらにしてもお風呂の世話をするのは、すばらしいおもてなしだったようです。

またこの資料は、当時の江戸城にお風呂があったことが分かる、とてもめずらしいものです。



企画展『君も今日から考古学者!横浜発掘物語2019』を振り返る

今日は、春の恒例企画展『君も今日から考古学者!横浜発掘物語2019』が無事閉会したことを記念して、展示パネルに登場してもらったみんなとあれこれ振り返ってみたいと思います(前回の反省会はNews43号をご覧ください)。

展示のゲームっぽい世界観は、2年前の展示(横浜発掘物語2017)から引き継いでいるんだけど、僕たちの姿、少し変わっているのに気づいてくれたかな?

実は僕らの姿、8ビットゲーム機風から16ビットゲーム機風に解像度が上がっていたんだよ。それに伴って使用できる色も増えてよりリアリティが出たんだ!

でも、誰にも気づいてもらえなかったわね(苦笑)

悲しいなあ。
前回の反省会を見てもらうと違いは明らかなんですけどね。

ここ何年かはワークシートを使った土器片の観察をやってもらっているツクル。今までは展示ケースの中に入れた状態で観察してもらっていたツクルけど、今年からは実際に触れるようにしたツクル。



実物を触ってもらうには、来館してくれた皆さんの資料の取り扱いに対する理解が必要不可欠です。「やさし

くさわってね!」などのサインを目に付くところに置くなどして、資料の扱い方をその場で知ってもらえるように努めました。

おかげさまで壊れたり、別の土器に取り換えたりすることは無かったわね(嬉)

「弥生人に質問だ!」は新たな試みだね。昨年の企画展示『君も今日から考古学者!横浜発掘物語2018』時に来館者からの質問に答える同名のコーナーを設置した。今回はその時にももらった質問の中で考古学的に答えることができそうな内容について展示したんだ。もちろん今年も引き続き来館者からの質問を受け付けたいよ。



質問の傾向としては、考古学では答えにくい内容が多く、展示・回答ともに大変苦労しました。今年も会期中に150を超える質問をいただきましたが、回答者の力不足から1/5程度しか答えることができませんでした。最も印象に残った質問は「どうやって爪を切ったんですか?」というものです。調べた限りでは旧石器時代から弥生時代までをとおして、爪切りと特定できた資料は見当たらず、内容が身近なのに大昔の様子が想像できないギャップに悶えました。

難しい質問もあるけれど、みんなが大昔のどんなことに疑問を持っているのかが分かるから、今後の展示でも活かそうだね!

今回の展示ではデジタルデータの活用も進めているツクルよね?

恒例のVR遺跡見学のほかにウェアラブルカメラを使って撮影した土器野焼きの様子や、人面付土器の3Dモデルを企画展示室内で見学できるようにしました。またエントランスではドローンで撮影した大塚・歳勝土遺跡の様子を大スクリーンに投影して遺跡の紹介をしています。



補助的に動画を使うことで展示がわかりやすくなるのが良いよね(納得)

今回の反省会では展示内容に変化が見られたところを中心に振り返ってみました。うまくいったところ、そうでなかったところも含めて今後の参考にしていきたいですね。ところで、だれか忘れていたような気が...

また、わしを忘れるなんて学芸員X君はホントに困ったやつだ。いいかね、今回こそ言わせてもらうが、そもそも...

あつ、かんちょうすいません!もうスペースがなくなっていました。おっしゃりたいことは次回の反省会でお願いします。では皆様、おつかれさまでした!

(一同) おつかれさまでした!



いま、横浜の中世城郭がアツい!

1 茅ヶ崎城址の解説パンフレットを製作しました!

2019年春、都筑区にある歴史公園「茅ヶ崎城址公園」の解説パンフレットを製作しました。茅ヶ崎城は室町時代後半に造られた城で、中世の内乱の中で地域の人々によって活用されたと考えられます。パンフレットはB3の両面印刷を六ツ折りのポケットサイズに仕上げており、公園内で見取り図のほか、発掘調査時の写真や図面を豊富に入れてあります。散策のおともに是非ご活用ください。

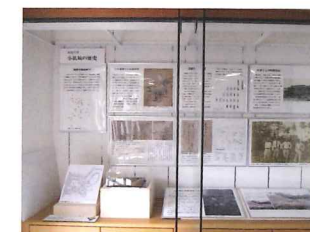


博物館図書閲覧室で
ご覧いただけます!※



2 城郷小机地区センター2階に、「小机城の歴史」展示を設置しました!

JR横浜線小机駅前の城郷小机地区センター2階にある展示スペースに、「小机城の歴史」展示コーナーを設置しました。小机城は文明10年(1478)に太田道灌が攻撃したことで有名ですが、戦国時代に小田原北条氏の支城として小机領の支配拠点となった戦国の城です。現在は「小机市民の森」となって、城域内を見学することが出来ます。



展示コーナーには、小机城の歴史や、昭和初期の横浜史跡指定にかかわる記事、戦後の発掘調査の様子などを示すパネルのほか、城のジオラマも展示してあります。小机城見学の際には是非あわせてお立ち寄りください。

3 お城EXPO2018に「横浜の中世城郭」ブースを出展!

2018年12月22日~24日、パシフィコ横浜で開催された「お城EXPO 2018」に出展。横浜市内の中世城郭をPRしました!



茅ヶ崎城址公園

【アクセス】横浜市営地下鉄「センター南」駅より徒歩10分
横浜市歴史博物館より徒歩15分



城郷小机地区センター

港北区小机町2484-4
Tel.045-472-1331
【アクセス】JR「小机」駅より徒歩1分



小机城址市民の森

【アクセス】JR「小机」駅より徒歩15分

追加指定の街頭紙芝居 「海龍丸」第4巻表紙

海龍丸は、太平洋戦争の最中にある昭和17年(1942)に、紙芝居の制作会社として統制・成立した大日本画劇株式会社によって制作されました。本作品を手掛けた阿部和助は、戦後ゴジラのデザインを手がけています。



追加指定を受けた 街頭紙芝居と活用の試み

文 刈田 均

街頭紙芝居は、昭和五年(一九三〇)頃に登場し、市街地の空き地や広場などで演じられ、当時の子どもたちが夢中になった娯楽の一つです。昭和二五年(一九五〇)頃の東京には、三〇〇〇人ほどの街頭紙芝居の演じ手がありました。例えばある演じ手が一日六箇所を回り、一箇所あたり三〇〇人の子どものみならず、紙芝居を見た人限定すると、一日あたりは一八〇人です。その演じ手が三〇〇〇人いると、単純計算で毎日五四万人もの子どもたちが街頭紙芝居を見たことになります。この時期子どもたちは誰もが街頭紙芝居を経験していました。

演じ手は、弱きを助け、悪を挫くヒーローが登場する冒険活劇や時代劇、ほのぼのとしたキャラクターが登場するマンガなど異なるタイトルを組み合わせて、毎日三〜四巻の街頭紙芝居を演じていました。演じ手が三〇〇〇人となると、毎日一万巻前後が演じられていたことになります。この頃東京には十数社の制作会社があり、新作の街頭紙芝居が毎日百数十巻ほど制作されていました。そして東京で演じ終えた街頭紙芝居は地方へと送られ、子どもたちを夢中にさせました。当時国内には膨大な数の街頭紙芝居が存在し、演じられていたのです。

ところが東京では、昭和三〇年代半ばを最後に街頭紙芝居の制作が打ち切られました。テレビの普及や子どもたちの遊びの多様化のほか、演じ手自身が街頭紙芝居から安定した別の業種へ転職したことも理由の一つでした。街頭紙芝居は金を稼げる商売道具から、絵が描かれた厚紙へと変わりました。置いておくには重く場所をとる街頭紙芝居は、急速に散逸してしまっただけです。

横浜市は平成二三年(二〇一一)に磯子区の鷺塚隆さんから寄贈を受けた街頭紙芝居二五三巻(二七〇〇枚)と舞台並びに拍子木について、全巻揃いの作品が含まれるなどの希少性から、平成二七年(二〇一五)一月に市の有形民俗文化財「街頭紙芝居附舞台・拍子木」として指定しました。

そして平成三〇年(二〇一八)一月には、横浜市中心図書館から移管された街頭紙芝居を中心に二四四二巻(二八七〇枚)を追加指定しました。追加指定の街頭紙芝居は、あけぼの会、画劇文化社、キング社、黒潮画劇社、自由社、聖和社、富士会など、東京のほか、大阪や名古屋を含む制作会社一八社を数え、全国的にも残存数が少ない昭和時代前期(戦前)制作の二タイトルを含むなど、範囲も広く、街頭紙芝居が隆盛した時代をほぼ網羅しています。

今回の追加指定によって、市の文化財となった街頭紙芝居の総数は二六九五巻、二四五七〇枚に及んでいます。全国的に見ても屈指の規模と内容といえるでしょう。(追加指定の街頭紙芝居の内容は「横浜市歴史博物館調査研究報告」Vol. 一五に掲載しています。売価八〇〇円+消費税)

街頭紙芝居の活用

当館ではこれらの街頭紙芝居を資料として伝えるほか、紙芝居が演じられた場の雰囲気も継承したいと考えています。その試みとして平成二五年(二〇一三)四月から「おもしろいぞ! 紙芝居」と題し、毎月最終土曜日に複製の街頭紙芝居を実演してきました。街頭紙芝居の魅力の一つに数十巻も続く物語があります。各巻は続きが気になるようなところで終わり、子どもたちが翌日も見ずにはいられないように構成されています。月一回の催しですが、翌月に続きを見てもらえるように演目を組みました。演じ手は、なつかし岸本茂樹さん、のんきやあやさん、和田佳さんの3人で、街頭紙芝居の魅力を伝えるように演じていただきました。

平成二八年(二〇一六)と二九年(二〇一七)には継承者育成のために「街頭紙芝居デビュー講座」を実施しました。座学や実技を織り交ぜながら、最終的には来館者の前で街頭紙芝居を演じるまでの講座です。

街頭紙芝居は演じ手にとっては生業であり、毎日子どもたちが買う水飴などの売上で生活が成り立っていました。子どもたちから人気を得られなければ生活が苦しくなります。演じる際に紙芝居の裏に記された文章ををただ読むだけでは子どもたちの人気は得られません。アドリブを入れたり、楽器を使ったりするなどして、子どもたちを引き付ける工夫が演じ手の力量であり、また売上につながっていました。受講生は子どもたちをどう引き付けるかを考えながら、演じ方を工夫し、実演に取り組みしました。

そして昨年四月から、「おもしろいぞ! 紙芝居」の演じ手として講座の修了生が加わっています。(写真中央下)

平成三一年(二〇一九)四月二七日(土)、平成最後の「おもしろいぞ! 紙芝居」を行い、街頭紙芝居の場の雰囲気を継承する取り組みは七年目に入りました。今年は八月一日から施設改修工事による休館となるため、「おもしろいぞ! 紙芝居」は八月から三月までお休みとなりますが、街頭紙芝居の実演はこれからも続けます。今後も応援をよろしく願っています。



のんきや
あや

街頭紙芝居に魅せられ、
三邑会に所属して
各地で活躍

ちよ子ちゃん



ナッキージョージ



ニコニコ亭みゆうみゆう



なつかし亭
岸本茂樹

街頭紙芝居から
教育紙芝居まで
オールラウンダーの
ベテラン

「おもしろいぞ! 紙芝居」の主な演じ手たち

福々亭パッパ



防波堤一路



ゆずやなつちん



沖縄投票 結果報告!

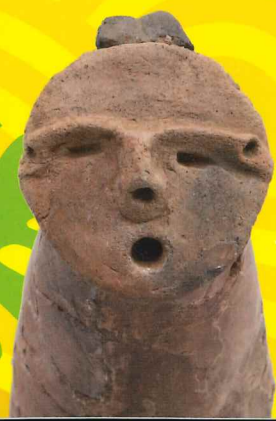
皆さん、応援ありがとう!

沖縄県立博物館の特別展「縄文と沖縄」会場にて実施された縄文グランプリ(人気投票)で、わたくし原出口遺跡出土の筒形土偶が健闘、みごと3位に入賞いたしました!

12月10日～	月	日
県内 14票	県外 5票	合計 19票
県内 23票	県外 8票	合計 31票
現在3位!		
最終的には169票の得票でした!		

なお一位は遮光器土偶、二位は火焰型土器、そして「日本最古級の縄文土器」としてエントリーした花見山遺跡の隆起線文土器センパイは12位でした。

2階廊下での里帰り展も終わり、今は常設展示室・原始Iにて皆様をお待ちしています!



あれ...
いつものケースに
逆戻り?



Twitterアカウント https://twitter.com/rekihaku_farm

横浜市歴史博物館レキハクファーム通信で日々の作業の様子をお伝えしています。

米と麦

レキハクファーム通信 第2号

収穫した陸稲の気になる「味」と次なる作物「小麦」の栽培をご紹介します!

6/1



収穫の日
大きなトラブルもなく
しっかり育ってくれた
農林61号です

5/18



もう少し熟すと
刈り取りですね

早く刈り取り
たいなあ...

5/11



ほんのり色づき
はじめました

おとなりは
FMヨコハマ
Lovelyday♡さんの
Lovelyfarm



4/24



お隣のLovelyfarmの
藤田さんも応援して
くれてます!?

お水を
あげないとね~

4/18



青々のびのび
ここまですると安心(^o^)
ですね

3/20



麦踏み
ツイッターでは動画を
公開中です

ニョキニョキ

2/17



ぐんぐん芽が伸びる
雑草にも負けず
ぐんぐん育ちます

1/7



芽が出た
ヒョロっと芽が
出てきました

12/12



種まき
まいた種は
「農林61号」です

陸稲その後

11/17



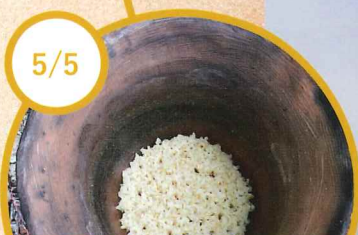
千歯こきで脱穀
当館ではおなじみの道具
「千歯こき」

5/2



もみすり機と選別
手動のもみすり機で
殻を外します

5/5



土器で炊飯
少量でしたが
上手く炊けました

今日から小麦



2019
2/5-2/24

公開講座「斎宮跡と古代郡衙」関連ミニミニ展示
(会場:2階廊下)



平成31年2月24日(日)に、三重県立斎宮歴史博物館との連携公開講座「斎宮跡と古代郡衙」(平成30年度文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業)を開催し、196人もの方にご参加いただきました。その関連企画として、国史跡斎宮跡についての解説パネルと、斎宮跡出土羊形硯・鳥形硯のレプリカ(斎宮歴史博物館蔵・原資料重要文化財)を展示し、斎宮跡と斎宮歴史博物館の活動について紹介しました。(柳沼 千枝)



須恵器 羊形硯(レプリカ)

須恵器 鳥形硯(レプリカ)

2019
4/6-6/2

寄贈資料紹介
明治期海軍士官の服飾品 小杉家資料から



小杉雅之進(1843~1909年)は、万延元年(1860)、咸臨丸の太平洋横断の際、蒸気方の見習士官を務めました。雅之進の跡を継いだ辰三(1868~1933年)は、明治22年4月海軍兵学校(15期)を卒業し、海軍士官として歩み始めます。この度当館では、小杉家より雅之進と辰三に関する資料をご寄贈いただきました。本展示では、寄贈資料のなかから、辰三が身に着けたサーベルや正肩章など、海軍士官の服飾品を中心に、紹介しました。(石崎 康子)



海軍サーベル(短剣)

Mini-Exhibition

ミニ展示 アーカイブ

2018
9/22-11/11

横浜漆器 透き絵の世界



横浜では明治時代に、芝山漆器や真葛焼など外国向けの工芸品が作られるようになりますが、その一つに透き絵の漆器がありました。

明治15年(1882)に、図案家の岸光景と蒔絵師の川之辺一朝によって創作された技法で、桜などの花紋をゴム印で付け、赤く透けるような漆で仕上げたものです。透き絵のモチーフには桜が多かったことから外国では「チェリーラッカー」と呼ばれ、人気を博しました。

本展では、企画展「寄木細工 Art & History」の開催に併せて、金子皓彦氏のコレクションのなかから優品を選び、横浜で作られた美しい透き絵のすがたを紹介しました。(刈田 均)

文箱(明治時代)



2018
11/20-3/31

ちょっと昔を探してみよう



昭和40年代頃の茶の間に再現した展示

本展では小学3年生の昔のくらしの学習にあわせ、昭和40年代の茶の間の再現を中心に展示を構成しました。見るだけでなく、炭火アイロンや火のし、手回し洗濯機、エジソン電球、ダイヤル式の電話機などを触れることができる展示コーナーを設け、使ったことがある世代には懐かしく、子ども達にとっては新しく不思議な道具の数々をご紹介いたしました。(羽毛田 智幸)



人気の手回し洗濯機はさわることができます。

環濠集落研究の最前線を知る ―茅ヶ崎市の下寺尾西方遺跡―

文 鈴木靖民

今年（二〇一九年）の三月下旬、茅ヶ崎市で開かれた環濠集落のシンポジウムに参加しました。同市の香川駅に近い西方遺跡という弥生時代中期後半の環濠集落が国の史跡に指定されたことにちなんだイベントでした。私が出席したのは、何よりも横浜歴史博物館が同じく国の史跡である同時期の環濠集落、大塚遺跡と墓地の歳勝土遺跡を隣接地に抱え、その遺跡公園は大勢の小学生や市民が訪れ、憩いの場を兼ねた歴史を知る野外施設として機能し、館内の常設展とセットで二〇年余にわたって続いていることからの関心でした。

大塚遺跡では学芸員が復元家屋の屋根の茅の葺き替えにかかわったり、市民ボランティアが解説したりして活動に努めてきました。またこの空間では、いくつもの市民組織との協働で、地域資源の活用のために

さまざまな事業を進めています。今も文化庁の助成を受けた地域の文化クラスター形成の事業を実施している最中です。茅ヶ崎市では西方遺跡をどう活用するのでしょうか。それは歴史博物館の役割をあらためて省み、地域資源としての歴史遺産の意義を考えるのは当然のことながら、今後の横浜の歴史文化を方向づけるための参照系にもなるに違いありません。

シンポジウムへの参加には、日本、特に南関東の環濠集落の研究がどういう状況にあるのか、考古学の最前線を知りたいという学問的な興味ももちろんありました。

西方遺跡は相模川下流域の東岸の平坦な台地に、宮ノ台式土器の使われた時期に、断面の異なった二条の濠がめぐらされた集落が造られ、東への拡張を経て、廃絶を迎えるもので、最大で東西約四〇〇メートル、南北約

二五〇メートルの面積があり、南関東において最大級の規模と目されます。今から二千数百年前の集落の変遷がわかる貴重な遺跡といえます。

翻って大塚遺跡をみると、空中写真で知られる丘陵上のピーナッツの形の環濠集落はおおよそ西方遺跡の半分の面積です。遺跡は完掘されま

したが、今、遺跡公園に遺されるのは西側が道路や宅地整備のために削られて、集落全体の三分の一ほどに過ぎません。大塚遺跡は鶴見川水系の早淵川流域にあります。この流域には権田原、森戸原、綱崎山、朝光寺原などの各遺跡が点在し、北の方の西本折原遺跡は全体が発掘されていませんが、大塚の約四倍の規模を誇ります。この河川の流域の環濠集落群は水上交通による何らかのネットワークがあったと推定されて

環状石斧（復元）



います。環濠集落は弥生文化の外来的要素の一つで（拙著『相模の古代史』、松江・田和山遺跡のように交易に目的のある場合もあります（拙著『古代日本の東アジア交流史』）。



完掘された大塚遺跡の全貌

いったい、集落に濠をめぐらして外部と区別することは防衛的な機能、目的があるともいえる説が有力ですが、決定的ではありません。歴史博物館では開館以来、たびたび環濠集落、または宮ノ台期に関連する企画展を催し、様々な角度から学界の研究成果を市民に提供してきました（最近では二〇一七年秋の稲作展）。弥

生文化または環濠集落の研究と公開というテーマは、歴史博物館の核となる課題なのです。

西方遺跡のシンポジウムでは興味あふれる説が提起されました。出土遺物には土器のほか石器、ことに環状石斧という真ん中に孔があり、円盤状でまわりに刃のある特殊な道具があります。

南関東のほかの環濠集落や出土する鉄器や磨製石器などの武器が北関東以北にはないことをもとに、弥生文化の勢力と北の縄文文化的な勢力との戦争、殺戮を想定する岡本孝之さんの説に対して、西方遺跡の壺は東海系の形や表面なのに伝統的な縄文の技法がみられるという新旧二つの文化の融合を認める谷口肇さんの異説が出されたのですが、論争にはなりません。私は人びとの争いから共同へという変化を想定すべきだと考えます。大塚遺跡と同様に、環濠集落の周辺に水田が営まれた可能性や、河川の便を考えた集落の形成なども話題に上りました。

遺跡の活用に関しては、横浜歴史博物館のもと学芸員の安藤広道さんが、研究者とともに市民が過去の事実の理解に参加する「歴史実践」の重要性を唱えられました。これは、

近頃、近現代史のオーラルヒストリーの分野でも注目を集める故保刈実さんの研究活動をモデルとします（『ラディカル・オーラル・ヒストリー―オーストラリアの先住民アボリジニの歴史実践』）。各地で市民が埋もれた歴史の掘り起こしに参加する活動も、歴史実践でしょう。

下寺尾西方遺跡のエリアは、実は先年、高座郡家と寺院を主とする古代の下寺尾官衙遺跡群が国の史跡になっており、二つの時期の複合遺跡なのです。飛鳥・奈良・平安時代と弥生時代の遺跡をどのように保存し、活かすのか、環濠集落の全容の解明と併せて注目されます。こ

れらは大塚遺跡の環濠集落の捉え直しにもつながるはずです。

堅穴住居をのぞくと、
弥生人に会えるようです。



※館長は合成です

熱闘

スポーツ土器パズル

Sports!
Doki Puzzle

博物館発の本格的スポーツとしてリニューアルした土器パズルが2019年の博物館感謝デーで1周年を迎えた。制限時間3分以内でパズルの完成タイムを争うこの競技、毎月最終土曜日に開催されるラスサタ大会も参加者も徐々に増えている。6月2日に開催された開港記念日大会では2月の感謝デー大会を上回る好タイムも続出し、パズルの完成タイムも徐々にレベルアップしており今後もスポーツ土器パズルから目が離せない。

博物館感謝デー大会記録 完成チーム上位3組

2019年2月2日 縄文の部

2分13秒	チーム山形
2分37秒	チーム最強土器
2分46秒	チームふわが

2019年2月3日 弥生の部

2分10秒	チーム最強土器
2分34秒	チームちーちゃん
2分47秒	チームともなお

開港記念日大会記録 完成チーム上位3組

2019年6月2日 縄文の部

1分47秒	チームリョウタ
2分08秒	チーム宮本
2分18秒	ゆうかほ

2019年6月2日 弥生の部

1分08秒	チームアンナ
1分46秒	チームりくと
1分49秒	チーム大悟



博物館感謝デー大会では、上位入賞者に特製のスポーツ土器パズルTシャツとリストバンドが贈られた。



節分の博物館感謝デーに登場したチームおにがしま(考古担当学芸員)、完成するも上位入賞ならず。

祝1周年

茅替える人々

おつか
大塚・歳勝土遺跡公園だより
かやぶき屋根プロジェクト編

文「茅刈り人」達
高橋健 羽毛田智幸
橋口豊 斎藤宣政



文化庁の「ふるさと文化財の森システム推進事業普及啓発事業」として委託契約を結んだ平成30年度の「かやぶき屋根プロジェクト」は、2018年12月8(土)・9日(日)の朝霧高原茅場での茅刈、2019年1月26日(土)の横浜市三股台考古館での茅葺屋根修繕説明会、2月24日(土)の大塚遺跡での復元竪穴住居修繕の実施、3月9日(日)の朝霧高原茅場での茅刈をもってその活動を終了しました。

2019年度も、自分たちで実施する茅葺屋根修繕を進め、市民の皆さんに大塚・歳勝土遺跡公園を身近に感じていただけるようにこれからも取り組んでいく予定です。

さて、この冬のトピックとして茅刈り人たちの活動ではないのですが、横浜市内の復元竪穴住居について大きな動きがありましたので報告します。なんと大塚遺跡の7棟の復元竪穴住居のうち5棟が、職人さんたちの手により修繕されました。また磯子区に所在する横浜市三股台考古館内の3棟のうち2棟の復元竪穴住居も修繕されました。

大塚遺跡では2019年1月初頭から3月末までの3ヶ月間、職人が行う大塚遺跡の修繕を間近で見学する機会を得て、また疑問には親切にお答えいただいて、茅

刈り人たちも大きな刺激を得ることができました。

横浜市三股台考古館では2019年1月26日に茅葺屋根修繕に関する研修会が実施され、前述のとおり「かやぶき屋根プロジェクト」でも研修として参加しました。

こうして大塚遺跡・三股台遺跡ともに生まれ変わりました。多くの皆さんに復元竪穴住居を見学いただきたいと思います。「かやぶき屋根プロジェクト」では、多くの茅刈り人を育て、史跡と市民の距離を近づけて文化財の保護・普及・活用につなげていくために今後活動していきます。



三股台考古館での見学会の様子



修繕中の復元竪穴住居



かやぶき屋根プロジェクトは文化庁平成30年度「ふるさと文化財の森システム推進事業普及啓発事業」として実施しました。